

平成20年7月7日

各 位

会 社 名 山下医科器械株式会社
 代表者氏名 代表取締役社長 山下 尚 登
 (コード番号: 3022 東証第一部)
 問 合 せ 先 取締役経営企画室長 北野 幸 文
 (TEL 092-726-8200)

通期業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、本年1月15日の中間決算発表時に公表した平成20年5月期(平成19年6月1日～平成20年5月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、当社は、平成20年7月7日開催の取締役会において、平成20年5月期の配当予想につき、下記のとおり修正することを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 平成20年5月期の業績予想数値の修正(平成19年6月1日～平成20年5月31日)

【連結】

(金額の単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	36,865	614	679	407
今回修正予想(B)	35,743	315	392	△ 154
増減額(B-A)	△ 1,121	△ 299	△ 286	△ 561
増減率(%)	△ 3.0%	△ 48.7%	△ 42.2%	—
(ご参考) 前期実績(平成19年5月期)	33,221	665	729	305

【個別】

(金額の単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	36,771	613	678	406
今回修正予想(B)	35,682	322	399	△ 149
増減額(B-A)	△ 1,089	△ 291	△ 279	△ 556
増減率(%)	△ 3.0%	△ 47.5%	△ 41.1%	—
(ご参考) 前期実績(平成19年5月期)	33,156	687	750	283

(2) 修正の理由

当期における当社グループおよび当社の業績は、売上高につきましては、大規模医療機関の設備投資需要による一般機器分野の医療機器備品更新に伴う販売増や、一般消耗品分野の市場シェアの拡大などによる前期比増収要因はあったものの、低侵襲治療分野における内視鏡機器等の競争激化による減収などにより、前回の予想を下回ることとなる見込みです。

利益面につきましては、医療機器部門全般における競争激化に伴う売上総利益率の低下が予想以上に大きく影響し、営業力強化を目的とした人的補強にかかる費用など、次期へ向けての先行投資的費用を含む販売費及び一般管理費を吸収することが出来ず、営業利益、経常利益はそれぞれ前回の予想より減少する見込みであります。

また、当期純利益につきましては、所有不動産の減損損失（約 376 百万円）による特別損失の計上により、前回の予想を大きく下回り当期純損失となる見込みです。

2. 期末配当予想の修正について

(1) 配当予想修正の内容

基準日	1株当たり配当金（円）		
	中間期末	期末	年間
前回発表予想 (平成 20 年 1 月 15 日発表)	—	50.00	50.00
今回修正予想	—	30.00	30.00
前期（平成 19 年 5 月期）実績	—	50.00	50.00

(2) 修正の理由

当社の利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定かつ継続的な配当を実施することを基本方針としております。

上記のとおり当期の業績予想は、最終利益が当期純損失となる見込みであり、前回の予想を大幅に下回ることとなる予定でございます。

これらを踏まえ、当期の期末配当予想につきましては、当期の業績予想が当期純損失となる見込みではあるものの、その主な要因が所有不動産の減損損失による特別損失であり、また、一定の経常利益を計上することが出来る見込みであることから、上記基本方針を踏まえ、当社の財務体質に与える影響も考慮の上、一株当たり 50 円の配当予想を一株当たり 30 円へ修正いたします。

注) 上記の業績予想および配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績および配当は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上